## 久屋小だより

〜気づき 考え みんなで創り出すⅢ〜☆和6年 1月号

## 「気づき 考え みんなで創り出す」 34



保護者の皆様, 地域の皆様, 関係機関の皆様, 明けましておめでとうございます。本年も, 久屋小学校教育へのご支援・ご理解・ご協力を賜りますようよろしくお願い申しあげます。

2学期の終業式では、「よりよく卯年を締めくくり、辰年を迎えましょう。」と話しました。また、「2学期の学び創り、くらし創りの中で、がんばったこともあれば、がんばりきれなかったこともあると思います。喜びや楽しさを実感することもあれば、つらく悲しい気持ちになったこともあると思います。ただ、『気づき 考え みんなで創り出す』

みんなのスローガンに向けて、一人一人が自分にできる取組をしていたことは間違いありませんよ。」というメッセージを送りました。そんな子どもたちの2学期の取組を振り返り、よりよく新年を迎えてほしいという願いから、今年度も下のような自作の詩を終業式で紹介しました。

**う**んどうかい 来年も さびしいときも ぎらぎらかがやく ぼくたち わたしたちになろうじゃないか そして さいこうだ!と叫びたくなる本気の学びとくらしを **う**きうきわくわくをもっとふやして ぎらぎらと星のようにかがやかせていこう そのためにも ぎっしりと体と心につまった学んだことは宝物です きりぎりまで本気でがんばる さばくのように果てしなくつづくみんなの可能性 先生たちの心からのねがいです 久屋小学校のみんな 二学期だったと 発表会 こまることもあったでしょう 毎日の学びとくらし みんなで創り出そう 友だちでありつづけてほしい 校長先生はうれしい すてきな姿がありました 本気の姿をありがとう 毛利 みんなで創り出そう

さて、新年を迎え、心新たに3学期のスタートをしました。始業式では、能登半島 地震で被災された方々のことを思い、「毎日を無駄にせずに精一杯生きることの大切 さ」から、「気づき 考え みんなで創り出す」重点目標の意味や価値をみんな で再確認しました。それは、「気づき 考え みんなで創り出す」の実現に向けて、この3学期は「学びづくりで一つ、学級づくりで一つ、みんなで挑戦しよう。」という意味・価値です。3学期はまとめの学期です。子どもには、「やりきった感」と「達成感」を実感して次年度を迎えてほしいと願っています。

始業式では、今年の干支「龍(竜・辰)」にかかわる話もしました。



干支である「たつ」,漢字で「たつ」を書くと「龍」,「竜」,「辰」がありますね。干支としては「辰年」と書くことが多いですが,今日は「龍(竜)」についてお話をします。

「龍」は伝説の生き物です。蛇のように長い体をもち、大空を自由に飛び回る生き物として描かれます。龍は伝説の生き物なので、誰も本物の姿を見たことはありませんが、多くの龍伝説があるほど、人間は強大な龍の力に神としての、そして力の象徴として大事にしてきました。干支の中に

「龍(竜)」を入れたのには、「みんなが力を高め、龍のように大空を羽ばたくような活躍をできる人になろう。」という、そんな日本人の願いが込められているのかもしれませんね。

ある人の言葉です。東日本大震災の時に,日本を訪れたブータンという国の国王が,被災地の子どもたちに話したことです。ブータンという国の旗には「雷龍」という龍が描かれています。



能は何を食べて大きくなるのか知っていますか?龍は「経験」を食べて大きく成長していくのですよ。私たち一人一人の中に「自分」という龍がいます。その自分という龍は、「経験」を食べるほど、強く、大きくなっていきます。自分という龍は、「経験」を支えにして強くなることができるのです。つまり、「経験」を積んで、自分という龍を鍛えていくことが成長するということです。ブータンの子どもたちには、「自分という龍を大切にしてください。育ててください。」ということを言っています。それが、みんなの幸せにつながります。

久屋小学校で積みたい「**経験」**は、やっぱり「**気づき 考え みんなで創り出す」経験**ですね。一人一人が、気づき 考え みんなで創り出す経験を蓄え、龍のように成長し、大空を羽ばたき、活躍できる1年になることを願っています。

子どもたちは真剣に話を聞いてくれました。